

たかみ 防衛大臣補佐官・衆議院議員 高見やすひろ



第1号
2024年8月



令和6年通常国会は、物価高対策や少子化対策など国を挙げて全力を注ぐべき重要課題があるにもかかわらず、「政治とカネ」に終始しました。「裏金問題」を引き起こしおまじながら、対応は後手に回り、責任をきちんと取らなかったことが、信頼を失った最大の原因だと考えます。9月の総裁選は、自民党は本当に生まれ変わった、と思ってもらえるような、活発で開かれたものになければなりません。

衆議院島根1区補欠選挙の大敗を受け、私は2つの反省をしました。一つは、私たち議員が届けている有権者の皆様の声、どのように政治を動かしているか、政治の側がもっと「見える化」をしなければならぬこと。今、手書きで原稿用紙に向かっているのも、その手段の一つです。もう一つは、「政治にお金がかかる」というけれど、実際のところ何にどれだけかかっているのか、明確に説明すべきだということ。これが「政治とカネ」の議論をする大前提ですので、早速今号で公開します。

高見 康裕



防衛省の執務室にて



国政報告会は現場の温度感を肌で知る貴重な機会



2人の子どもに絵本を読み聞かせ

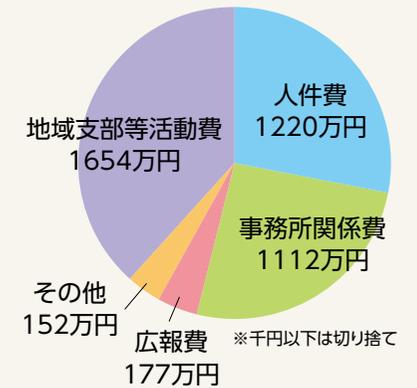
ご意見やご要望、国政報告会や意見交換会の開催など、いつでも事務所までご連絡ください。

POINT 何にどれだけお金がかかっているのか？

私が支部長を務める「自由民主党島根県第2選挙区支部」は、令和5年に4317万円を支出しました。主な内訳は、人件費が1220万円、事務所関係費が1112万円、自民党の地域支部等に支給する活動費が1654万円、広報費が177万円などです。地域支部等活動費を除けば、人件費が約46%、事務所費が約42%と、固定費だけで9割近くに上ります。スタッフは島根と東京で7人おり、公費で給与が支給される3人を除く、4人の給与が必要です。

デジタル化でお金がかからない政治も、という意見もあります。このかわら版をデジタルのみにし、対面をオンラインに性急に移行すれば、たとえば高齢者や障がい者の声が政治に届きにくくなってしまいます。企業献金や政治資金パーティーは、裕福な人でなくても政治家になることも可能にする手段であり、「お金持ちしか政治家になれない」ならば民主主義は危機的状況に陥ります。政治には一定のお金がかかることも前提に、国民全体でどう民主主義のコストを担っていくのか、という議論が必要だと考えています。

自由民主党島根県第2選挙区支部
令和5年支出 4317万円



ACTIVITIES 災害復旧に全力を尽くします

7月の大雨によって出雲市大社町日御碕地区で県道が崩落し、孤立地区が発生しました。国・県・市で密接に連携し、一日も早い復旧・復興に取り組みます。

災害現場で被害状況と住民のニーズを把握
(2024年7月)

TOPIC 防衛大臣補佐官として国内外を駆け回っています

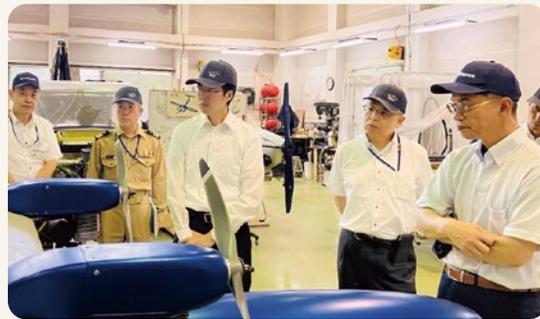
1月に就任した防衛大臣補佐官では、防衛産業の強化や国際装備移転の促進に尽力しています。全国20社以上の企業などを視察し、現場で見聞された課題を政策につなげているほか、2月にはシンガポールの国際展示会にスタートアップ企業など14社とともに出向き、技術が光る日本の装備品のトリアセールズに取り組みました。



フィリピン政府との会談
(2024年2月、シンガポールで)



日本政府として初出展したシンガポール・エアショー



防衛産業の視察では現場の社員との意見交換を重視しています

TOPIC 岸田首相に中山間地域対策を提言

事務局長を務める規制改革プロジェクトチームでは、特に中山間地域で大きな課題となっている「ガソリンスタンドの継続支援」「クマなどの鳥獣被害対策」につき、岸田首相に政策提言。過疎地や被災地で活躍する可搬式給油機の普及促進や、クマに対する猟銃の使用基準の緩和などを求めました。



中山間地域対策に関する規制改革を提言
(2024年4月)

TOPIC 島根県の学生部が全国準優勝!

私が学生部長を務める自民党学生部で、5月に都道府県対抗政策プレゼンコンテストを開催。全国の学生たちが練り上げた政策アイデアの着眼点とプレゼン能力の高さは目を見張るものがありました。島根県チームは全国14チームのうち、なんと準優勝の好成績を収めました! 学生部は6月には青年局の議員とともに街頭演説するなど、自民党に大いに刺激を与える活躍をしています。



大躍進の準優勝。サポートした青年局議員と(2024年5月)



街頭でマイクを握る学生の勇気に拍手(2024年6月)

学生部に興味がある方は事務所までご連絡ください

プロフィール

1980(昭和55)年出雲市生まれ。東京大学法学部、東京大学公共政策大学院を卒業後、新聞記者、海上自衛官、学習塾を経て、2015年島根県議会議員に初当選。2021年衆議院議員に初当選、2022年8月~2023年9月法務大臣政務官。2024年1月防衛大臣補佐官に就任。家族は妻と1女1男。趣味は家族との散歩。座右の銘は「人事を尽くして天命を待つ」。

●現在の役職

- ・防衛大臣補佐官 ・自由民主党 青年局 学生部長 ・自由民主党 中央政治大学院 副学院長
- ・自由民主党 島根県連 副会長 ・行政改革推進本部 規制改革等に関するプロジェクトチーム 事務局長
- ・更生保護を考える議員の会 事務局次長 ・日本の領土を守るため行動する議員連盟 事務局次長
- ・自衛隊施設強化議員連盟 事務局次長 ・産業建材推進議員連盟 事務局次長 ・半島小委員会 事務局次長
- ・わさび振興議員連盟 幹事 ・犯罪被害者等施策の検証・推進議員連盟 幹事 など



日々の活動を発信しています!!

衆議院議員 高見康裕事務所 ご意見やご要望、国政報告会や意見交換会の開催など、いつでも事務所までご連絡ください。

●浜田事務所

〒697-0055 島根県浜田市元浜町 229-1
TEL 0855-22-8500 FAX 0855-22-8600

●出雲事務所

〒693-0058 島根県出雲市矢野町 941-4
TEL 0853-23-8118 FAX 0853-23-8228

●松江事務所

〒690-0873 島根県松江市内中原町 140-2 島根県政会館 3階
TEL 0852-20-7777 FAX 0852-67-8008

●国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 520 号室
TEL 03-3508-7166 FAX 03-3508-3716